

メンタルヘルス科

● スタッフ (2021年10月1日現在)

診療科長 井上 猛
 医局長 松本 恭典
 病棟医長 東山 幹
 外来医長 本屋敷 美奈

医師数 常勤 21名
 非常勤 17名

● 診療科の特徴

当診療科は、新宿新都心の高層ビル街に位置する大学病院という特性があります。約130人/日の外来患者および約10人/月の新入院患者の診療にあたり、また、総合病院の精神科として精神疾患を合併した患者に対してコンサルテーション・リエゾン活動を行っております。その為、症例はうつ病・双極性障害といった気分障害や統合失調症をはじめ、パニック障害などの不安障害や摂食障害、人格障害、器質・症状性精神障害など多岐にわたり、軽傷から重症まで様々な症例の診療・治療を行っております。またこどものこころ診療部門として小児科と協力しながら、不登校やひきこもり、ゲームやネット依存など、発達障害を含むすべてのこどものこころに関係する疾患の診断と治療を行っております。補助診断として、光トポグラフィーも導入し、脳波、心理検査などと併用することでさらに診断の精度向上を図っております。近年、地域の医療機関との連携強化を図り、重症例は当科にて入院も含め加療し、寛解後地域社会に戻って生活していただくなどのサポート・相互連携を行っております。

● 診療体制と実績

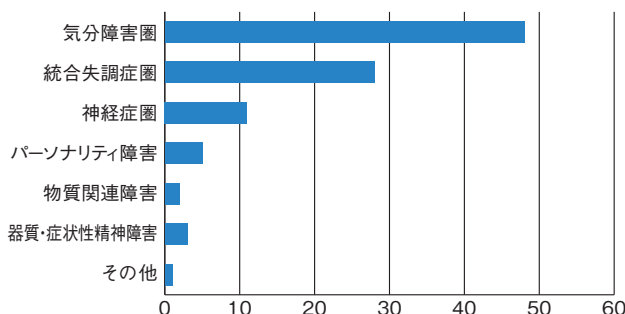
主任教授：1名、准教授：1名、講師：1名、助教：8名、
 後期研修医：10名、臨床研究医：0名
 兼任医師：16名、臨床心理士：1名
 専門医および指導医・認定医数
 日本精神神経学会 専門医 10名
 指導医 7名
 精神保健指定医 11名
 日本医師会 認定産業医 4名

診療実績

● 入院診療の実績 【2021年度】

のべ入院患者数 100名

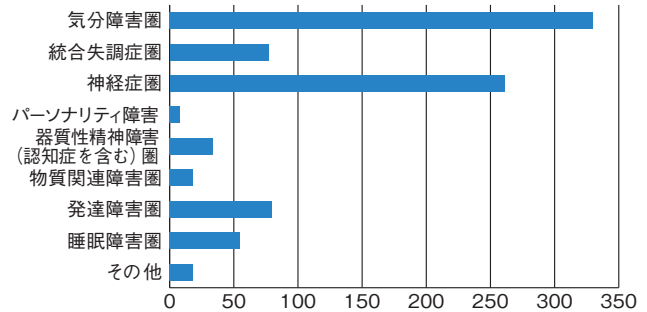
入院患者の疾患別割合 (%)



● 外来診療の実績 【2021年度】

初診患者数 901名 (院内からの紹介患者を除く)
 のべ外来患者数 26,637名

院内からの紹介患者を除く初診患者数



● 臨床研究等の実績 【2021年度】

井上 猛、内田由寛、館 千歌：不安・恐怖のセロトニン仮説. 精神医学の基盤 No5. 精神医学における仮説の形成と検証 (大森哲郎責任編集), pp166-174, 学樹書院、東京、2021.
 井上 猛、大塚綾乃：不安症、強迫症、心的外傷後ストレス障害の治療. 専門医のための臨床精神神経薬理学テキスト (日本臨床精神神経薬理学会専門医制度委員会編集). pp311-320, 星和書店、東京、2021
 東山 幹、井上 猛、積 知輝、出口彩香：ボルチオキセチンの薬理作用、作用機序と臨床の有用性. 精神科 40 (6) : 805-810, 2022.
 Tamada Y, Inoue T, Sekine A, Toda H, Takeshima M, Sasaki M, Shindome K, Morita W, Kuyama N, Ohmae S. Identifying Subjective Symptoms Associated with Psychomotor Disturbance in Melancholia: A Multiple Regression Analysis Study. Neuropsychiatr Dis Treat. 17 : 1105-1114, 2021.
 Ishii Y, Masuya J, Morishita C, Higashiyama M, *Inoue T, Ichiki M: Victimization in childhood mediates the association between parenting quality, stressful life events, and depression in adulthood. Neuropsychiatr Dis Treat. 17 : 3171-3182, 2021.
 Deguchi A, Masuya J, Naruse M, Morishita C, Higashiyama M, Tanabe H, *Inoue T, Ichiki M: Rumination mediates the effects of childhood maltreatment and trait anxiety on depression in non-clinical adult volunteers. Neuropsychiatr Dis Treat. 17 : 3439-3445, 2021.
 Morishita C, Ichiki M, Shimura A, Ishibashi Y, Inubuse A, Masuya J, Inoue T: Psychotropics use and occurrence of falls in hospitalized patients: a matched case-control study. Psychiatry Clin Neurosci 76 (3) : 71-76, 2022.
 Shimura A, Yokoi K, Ishibashi Y, Akatsuka Y, Inoue T: Remote work decreases psychological and physical stress responses, but full-remote work increases presenteeism. Frontiers in Psychology. 12 : 730969, 2021.
 Hayashida T, *Shimura A, Higashiyama M, Fujimura Y, Ono K, Inoue T: Psychosomatic stress responses and sleep disturbance mediate the effects of irregular mealtimes on presenteeism. Neuropsych. Dis. Treat. 17 : 315-321, 2021.